

# マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594  
FAX:097-554-4049

第112号

## 令和2年5月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和2年5月分の交付金概算払単価が公表されましたので、概算払いを行います。

肉専用種については、206,448.8円・交雑種については、142,220.3円・乳用種については、42,925.1円の交付となります。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和2年5月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

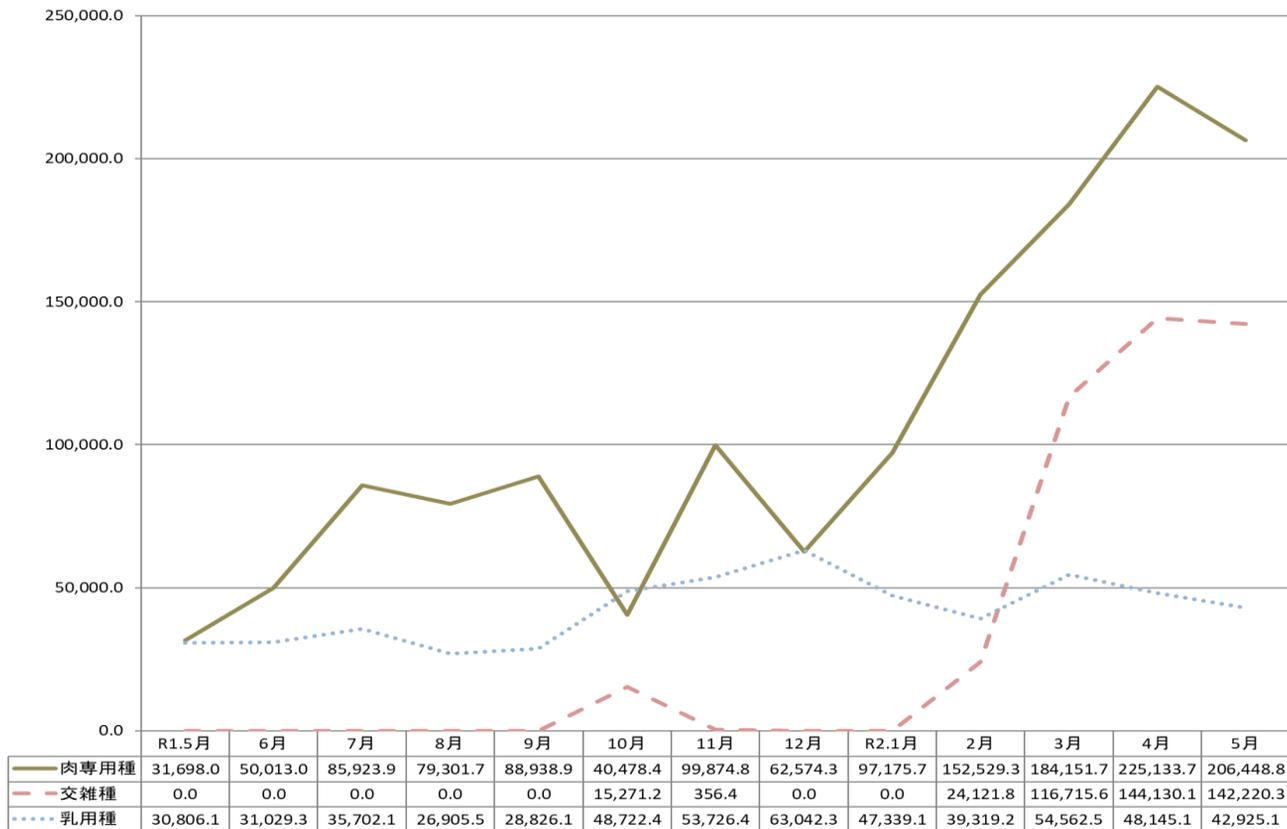
### トピックス

●令和2年5月分の単価(概算)が公表されました。

●5月分の交付金交付は、7月29日(水)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



## 牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oota.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 [https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin\\_00002.html](https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html)  
補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

## ★畜産物の市況展望【牛肉】

### ～インバウンド見込めずロイン低迷、和牛苦戦～

2020年6月の牛枝肉価格は、緊急事態宣言が全面解除されたことで外食需要が戻しつつあるが、入梅で好材料は少なく厳しい相場推移となった。インバウンドが見込めないことが、和牛の需要回復の大きな課題となっている。海外輸出は減少し、ロイン系の在庫過剰感は今後も続きそうだ。

5月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前月比183円高の2,236円（前年同月比498円安）、同A4も132円高の1,835円（同597円安）、同A3は100円高の1,618円（同602円安）、同A2は202円安の1,463円（同479円安）。

緊急事態宣言の発令下、ホテル、レストランの営業自粛が続き需要は低調だったが、①量販店等の連休手当が活発化したこと、②お取り寄せの需要が動いたこと、③政府の補正予算に和牛肉保管在庫支援緊急対策が組み込まれたことから底を脱した。しかし、前年実績を500円前後下回るなど厳しい情勢は続いている。

交雑牛はB4が34円高の1,431円（331円安）、B3が73円高の1,283円（同384円安）、同B2は85円高の1,137円（同435円安）。乳去勢B2は前月比248円高の950円（同79円安）。焼き材の主要輸入国である米国食肉処理施設でコロナ感染が拡大、現地工場の稼働中止で米国産牛肉の輸入量が大幅に減少することが見込まれ、それぞれ上げた。とはいえ、乳去勢の出回り頭数は少なく、米国産の代替えに切り替えるほどの数量を確保できずこれ以上の上昇は考えにくい。

6月は外食需要が戻しつつあるが、県境移動の自粛や営業時間の短縮、客席を減らすなどの対策を余儀なくされ、従来のような需要に戻るのには時間を要しそう。観光復興支援策がどのように展開されるのかも注視される。一時期に比べれば外食の需要が良化した。コロナ対応やインバウンド需要が見込めないことから和牛の大幅回復は難しそう。お取り寄せや量販店などの引き合いに期待。梅雨明け後に気温が上昇し、焼き材需要が活発化することが予想され、スソ物などは上向いていくか。和牛去A5で2,250円前後、A4で1,850円中心。交雑種は去勢B3で1,300円前後か。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌7月号 抜粋）